

## ● 平成30年(2018年)の世界の主な地震

2018年(以下、日本時間を基準とする)に人的被害<sup>注</sup>を伴った地震は10回(2017年は17回)であり、Mj(気象庁マグニチュード)もしくはMw(モーメントマグニチュード)7.0以上の地震は17回(2017年は7回)であった。また、MjもしくはMw8.0以上の地震は1回(2017年は1回)であった(図1及び表1参照)。

2018年に世界で発生した地震のうち、最も規模の大きかった地震は、8月19日のフィジー諸島付近の地震(図1中の11)のMw8.2(Mwは気象庁による)であった。

米国地質調査所(USGS)の統計によると(<https://earthquake.usgs.gov/>)、M8.0以上の地震の年間発生回数の平均は1回、M7.0~M7.9の地震の年間発生回数の平均は15回であり、2018年のM7.0以上の地震発生回数は平均的であった。

以下、死者が100人を超える海外の地震について記述する。

8月5日、インドネシア、スンバワ島付近の深さ34kmでMw6.9の地震(図1中の10)が発生し、インドネシアで死者555人等の被害が生じた。

9月28日、インドネシア、スラウェシ島、ミナハサ半島の深さ20kmでMw7.5の地震(図1中の18)、及びこれに伴って津波が発生した。死者2090人以上等の被害が生じた。

注:被害状況は、出典のないものはOCHA(UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs:国連人道問題調整事務所)、国内は、総務省消防庁による。

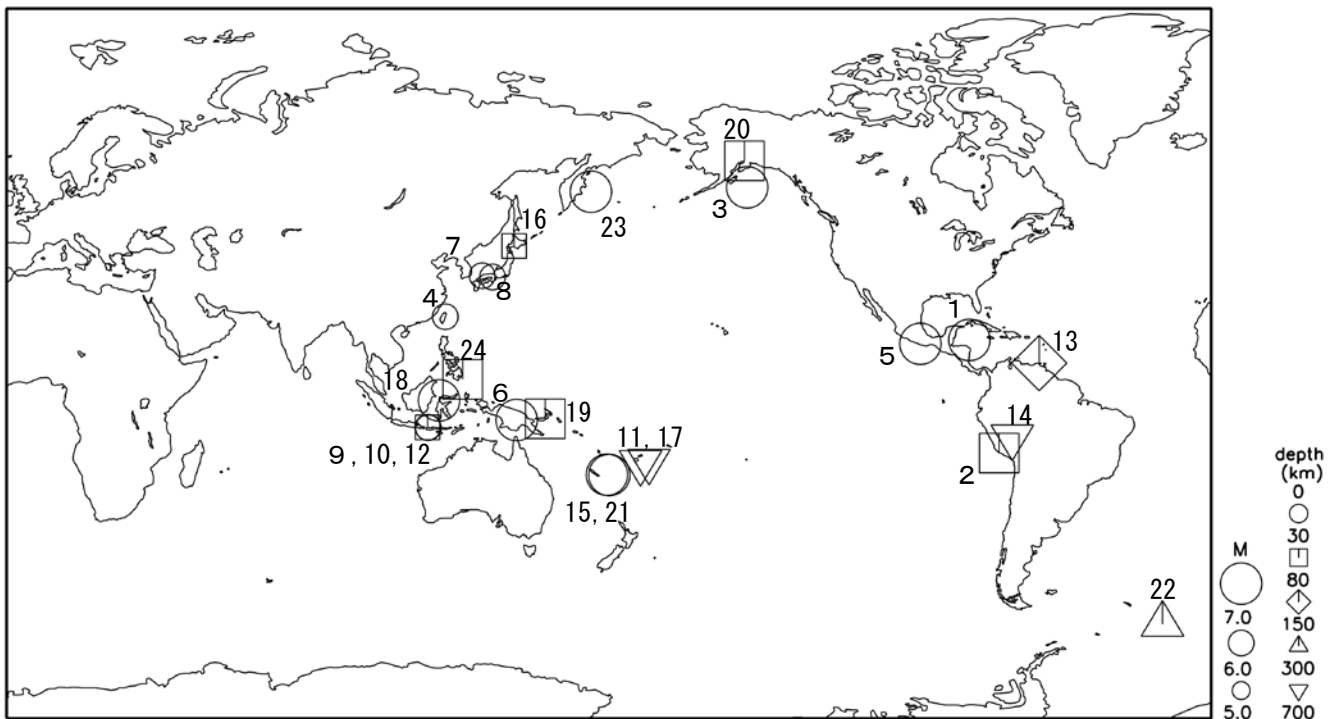


図1 2018年に世界で発生したM7.0以上または人的被害を伴った地震の震央分布

\* :震源要素は、1月1日~9月30日は米国地質調査所(USGS)発表のPRELIMINARY DETERMINATION OF EPICENTERS(PDE)に、10月1日~12月31日は同所ホームページの“Earthquake Archive Search & URL Builder”(http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/)による(2019年1月4日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、及び一部の規模の大きな地震のMw(モーメントマグニチュード)については気象庁による(表1参照)。

\*\* :数字は、表1の番号に対応する。

\*\*\* :マグニチュードは表1の値を使用している。海外の地震については、Mw(モーメントマグニチュード)を、Mwが決まっていないう場合はMj(気象庁マグニチュード)の値を表示している。

平成30年12月 地震・火山月報(防災編)

表1 2018年に世界で発生したマグニチュード7.0以上または人的被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ(km)	Mj	Mw	震央地名	備考(被害状況など)	北西	遠地
1	01月10日11時51分	N17° 29.0'	W083° 31.2'	19		(7.5)	ホンジュラス北方			○
2	01月14日18時18分	S15° 46.1'	W074° 42.6'	39		(7.1)	ペルー沿岸			○
3	01月23日18時31分	N56° 0.2'	W149° 9.9'	14		(7.9)	アラスカ湾			○
4	02月07日00時50分	N24° 5.2'	E121° 40.6'	10	6.7	(6.3)	台湾	死者17人など		
5	02月17日08時39分	N16° 23.1'	W097° 58.7'	22		(7.1)	メキシコ、オアハカ州	負傷者2人		○
6	02月26日02時44分	S06° 4.2'	E142° 45.2'	25		(7.4)	パプアニューギニア、ニューギニア	地震による地滑りにより死者98人以上		○
7	04月09日01時32分	N35° 11.0'	E132° 35.2'	12	6.1	(5.7)	島根県西部	重傷2人、軽傷7人など		
8	06月18日07時58分	N34° 50.6'	E135° 37.3'	13	6.1	(5.6)	大阪府北部	死者6人など		
9	07月29日07時47分	S08° 14.4'	E116° 30.5'	14		6.4	インドネシア、スンバワ島付近	死者17人以上		
10	08月05日20時46分	S08° 15.5'	E116° 26.3'	34		(6.9)	インドネシア、スンバワ	死者555人以上		○
11	08月19日09時19分	S18° 6.8'	W178° 9.2'	600		(8.2)	フィジー諸島			○
12	08月19日23時56分	S08° 19.1'	E116° 37.6'	31		6.9	インドネシア、スンバワ島付近	死者10人		
13	08月22日06時31分	N10° 46.4'	W062° 54.1'	147		(7.3)	ベネズエラ沿岸			○
14	08月24日18時04分	S11° 2.1'	W070° 49.7'	630		(7.1)	ペルー/ブラジル国境			○
15	08月29日12時51分	S22° 1.8'	E170° 7.6'	21		(7.1)	ローヤリティー諸島南東方			○
16	09月06日03時07分	N42° 41.4'	E142° 0.4'	37	6.7	(6.6)	胆振地方中東部	死者41人など	○	
17	09月07日00時49分	S18° 28.5'	E179° 21.0'	671		(7.9)	フィジー諸島			○
18	09月28日19時02分	S00° 15.4'	E119° 50.8'	20		(7.5)	インドネシア、スラウェシ、ミナハサ半島	死者2090人以上		○
19	10月11日05時48分	S05° 42.1'	E151° 12.3'	39		(7.0)	パプアニューギニア、ニューブリテン付近		○	○
20	12月01日02時29分	N61° 20.8'	W149° 57.3'	47		(7.0)	米国、アラスカ州南部			○
21	12月05日13時18分	S21° 57.4'	E169° 25.1'	10		(7.5)	ローヤリティー諸島南東方			○
22	12月11日11時26分	S58° 35.9'	W026° 27.9'	165		(7.1)	サウスサンドウィッチ諸島			○
23	12月21日02時01分	N55° 6.0'	E164° 42.0'	17		(7.3)	ロシア、コマンドル諸島		○	○
24	12月29日12時39分	N05° 58.4'	E126° 49.7'	60		(7.0)	フィリピン諸島、ミンダナオ		○	○

- ・震源要素は、1月1日～9月30日は米国地質調査所(USGS)発表のPRELIMINARY DETERMINATION OF EPICENTERS(PDE)に、10月1日～12月31日は同所ホームページの”Earthquake Archive Search & URL Builder”(http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/)による(2019年1月4日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mwの欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。
- ・地震発生時刻は日本時間[日本時間=協定世界時+9時間]である。
- ・被害状況は、出典のないものはOCHA(UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs:国連人道問題調整事務所)、国内は、総務省消防庁による。
- ・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報(NWPTA)(地震・火山月報(防災編)2005年5月号参照)を発表したことを表す。
- ・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。
- ・深さに「\*」を付したものは、気象庁によるCMT解のセントロイドの深さを表す。